

群馬県知事 大澤正明 殿  
群馬県立近代美術館 館長 岡部昌幸 殿

「群馬の美術 2017」における白川昌生氏の出品取り消しについての抗議声明

群馬県立近代美術館で2017年4月22日に始まった企画展「群馬の美術 2017」において、出品作家の白川昌生氏による、朝鮮人労働者追悼碑を模した作品の展示が、同館の判断により開催直前に取りやめになるという事態が発生しました。美術評論家連盟は、個人による作品の発表や表現の自由、市民による鑑賞の機会とその権利を奪い、加えて憲法 21 条 2 項に明記された検閲と事前抑制の禁止に抵触する同館の対応は、作家の権利と公共の利益を省みない不当な判断であると考えます。美術評論家連盟は、白川氏が投げかけた、追悼碑をめぐる現況に対する問題提起を一方的に抑圧し、この作品を契機にした多様な意見の交換と議論の可能性を奪ったこの措置に対し強く抗議するとともに、今回の不当な判断について、美術館設置責任者である県知事と、美術館の運営責任を司る当該館長においては、我々専門家のみならず、一般市民に対しても、公式の説明責任を果たすことを求めます。

2017年5月31日  
美術評論家連盟